

- 1 日 時 平成26年1月8日(水) 第5校時  
 2 学年学級 第3学年A組(視聴覚教室) 33名(男子14名 女子19名)  
 3 題材名 「尾形光琳『紅白梅図屏風』の鑑賞」  
 4 題材について

## (1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領美術の第2学年及び第3学年「B鑑賞」(1)の事項ウ「日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深める」を受けて設定した。本題材は、日本の美術の中で独特の存在感を発揮している琳派、中でも尾形光琳の「紅白梅図屏風」の鑑賞である。日本独自の文化に触れ、そのよさや表現の特質を味わうことによって、日本の美術文化に対する理解を深めることをねらいとする。琳派の特徴を基に、日本の美術文化の素晴らしさに感動の気持ちをもたせることができる題材である。

## (2) 生徒観

本学年の生徒は、美術の授業に積極的に落ち着いて学習に取り組むことができている。制作に対しても興味をもち、各自で工夫を行いながら作品を作り上げている。鑑賞分野でも時代や作家の特徴を意欲的に理解しようとしている。

しかし、鑑賞分野の中でも日本美術を中心に据えた教材は今まで実施しておらず、いわゆる西洋美術に比べて知識も体験も授業では少ないと言える。また、現代では日常生活の中で日本美術、とりわけ伝統文化にふれる体験は非常に限られている。そのため、日本美術に関する関心は低く、知識は少ないはずである。日本美術に関する美術科で行ったアンケートの結果は次の通りである。

日本美術と西洋美術とどちらが好きですか		あなたの身の回りにはどちらが多くありますか	
日本美術がとても好き	7人	日本美術がとても多くある	5人
日本美術の方が少し好き	13人	日本美術の方が少し多くある	15人
西洋美術の方が少し好き	6人	西洋美術の方が少し多くある	7人
西洋美術がとても好き	7人	西洋美術の方がとても多くある	2人

## ①日本美術が好きな理由

・しぶくてカッコイイから。・水墨画がいい。・構図が面白いから。・日本人だから。・浮世絵が独特で好き。・日本の文化を感じるから。・西洋に親しみがないから。・日本らしい感じがするのが好きだから。・風景画がとてもきれいだから。・四季折々の風景が好きだから。・ほっとするから。・絵が繊細な感じがするから。・美しいから。・何となく。

## ②西洋美術が好きな理由

・リアルだから。・光の射すところの色が変わったり、影になるところの色が変わったりして立体的だと思うから。・名前が覚えやすい。・不思議な感じの絵が多いから。・いろんな種類のものを見ているから。・不思議な感じがして、見るのが楽しいから。・色々な形があつておもしろい。・独特な色使いがあつて好きだから。・決まった描き方がないから。・日本の絵があまり思いつかないから。・好みだから。たくさん種類があるから。・有名なものが多いから。・美しいから。

## ③知っている日本美術の作品

太陽の塔、富嶽三十六景、金剛力士像、浮世絵、有田焼、水墨画、葛飾北斎、東海道五十三次、西陣織、歌川広重、平山郁夫、白鶴図、焼き物

## ④伝統文化で親しみをもっているもの

神明祭、宮床祭、祭り、和、ふすま、きもの、正月、西陣織、陶芸、おせち、畳、卓袱台、掛け軸、獅子舞

意外にも日本美術の方に親しみを感じている生徒が半数を超えていることが明らかになった。日本の伝統文化に対して親近感を抱いていることが見て取れる。他の教科でも取り組まれている伝統文化にかかわる教育内容が影響しているのではないだろうか。また、忠海の特徴である祭りを自分たちの伝統文化と捉えている生徒が多数にのぼった。

しかし、西洋美術よりも日本美術の方が好きと言いつつも、知っている作家名や作品名も少なく、好きな理由も気分的なものが多い。つまり、日本美術の実態を理解することなしに漠然とした好感を持っている状態に止まっていると言える。

### (3) 指導観

指導に当たっては、西洋美術との比較を通して相対的に日本美術の特色を理解させ、作者の技術や工夫を知り、作品の中の具体的な形や色彩などの要素に着目し、日本美術独自のよさを味わわせていきたい。また、今までの座学中心の授業から作品の形や色彩など造形的な要素に着目させ、鑑賞に対してより積極的な姿勢を育むために創作活動・言語活動を取り入れていきたい。

ただ光琳の作品を見るだけでなく、自分が描いた絵と比べることで、光琳の絵の効果をより深く考えさせる。そして、「紅白梅図屏風」の鑑賞においては漫然と絵を見せるのではなく、造形的な要素に着目させ、具体的に比較するものを用意して思考の深まりを促していきたい。この活動によって光琳独特の水の流れや梅の木の表現方法、背景の金地や対称的な画面構成などを理解させ、日本の美術文化に対する理解を深めることができると考える。

## 5 題材の目標

○形や色彩，材質感など造形的な要素に着目し，琳派の鑑賞を通して日本の美術の表現方法や表現形式を味わい，それらのよさを理解し，その特有の美しさを理解できる。

## 6 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞する能力
日本の美術に関心を持ち，意欲的に鑑賞活動に取り組もうとしている。	造形的な要素に着目して，日本の美術文化の独自のよさを味わい，美しさを感じている。

## 7 指導と評価の計画（全2時間）

次	学習内容	評価の観点			
		関	鑑	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋画と日本画の比較</li> <li>・「紅白梅図屏風」の印象</li> <li>・中央部の川の意匠を作画</li> <li>・表現・技法の効果について考える</li> </ul>	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋絵画と比べて，日本画の特徴や良さを積極的に理解しようとしている。</li> <li>・光琳の作品の平面性・装飾性を理解し，その効果を考えようとしている。</li> </ul>	行動観察 プリント
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「紅白梅図屏風」の造形分析</li> <li>・作者の思いやねらいについての理解</li> </ul>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色についての各要素を比較することで，光琳の技法の特色やねらいを理解する。</li> <li>・光琳のねらいを積極的に理解しようとしている。</li> </ul>	行動観察 プリント

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

○造形的要素を分析して「紅白梅図屏風」の美しさを述べることができる。

### (2) 評価規準

○「紅白梅図屏風」について造形的な分析を行い，具体的に説明することができる。

### (3) 準備物

提示用鑑賞資料，電子黒板，プリント，広島県版美術史料

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 前時の復習 尾形光琳の生涯についてプリントによって学習する。</p>	<p>◇ 尾形光琳が琳派の特徴をよく表していることに留意させる。 ◆ 視覚的理解を助けるためにプレゼンテーションソフトを使って電子黒板で説明する。</p>	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本時の目標 「紅白梅図屏風」の秘密を「比較」によって探ろう</p> </div> <p>2 4つのテーマに分けて比較分析を行う。 〔集団〕 A 白梅と紅梅 B 梅と川 C 右と左の構図 D 風神雷神図と紅白梅図屏風 <b>【言語活動】</b> 3 個人でプリントに相違点と類似点を記入し、その効果を考える。〔個人〕 4 班で各自の意見をまとめて、発表する。〔集団〕 5 分析を発表し合う。〔集団〕</p>	<p>◇ 構成美の要素 (コントラスト, シンメトリー, バランス, リズムなど)を使うことによって造形的に説明できることを気づかせる。 ◇ 2班ごとに1つのテーマで検討させる。 ◇ それぞれの造型要素が鑑賞者にどのような影響を与えるのか考えさせる。 ◆ 造形的要素に気づきやすいように, 前時に行ったコメントを集めたプリントを配布する。 ◆ 途中から各班にヒント・シートを配布して, 話し合いを進みやすくする。</p>	<p>・ 紅白梅図屏風」について造形的な分析を行い, 具体的に説明することができる。 (行動観察 ・プリント)</p>

<p>ま と め</p>	<p>6 「紅白梅図屏風」の解釈についてまとめを行っていく。</p> <p>7 本時の感想を書く。</p>	<p>◇各班の発表内容を引用しながらまとめを行っていく。</p> <p>◇「紅白梅図屏風」が光琳晩年の作品であり、俵屋宗達の名作「雷神風神図」を乗り越えるために描いた彼の熱意を伝える。</p> <p>◇最初の印象と比較しながら、感想を書かせる。</p> <p>◆学習内容を一覧できるように黒板にまとめを行っておく。</p>	
<p>生徒のまとめ例</p> <p>宗達に学んだ光琳は、最後に自分にしか描けない絵によって宗達を超えようとした。そのために、自分の個性や得意な技法をいかして、変化と統一の間で緊張感のある絵を生み出した。</p> <p>風神雷神図に倣って、一枚の絵の中に様々な相反する要素を用いて、対立する関係をつくり出した。しかし、左右の構図を工夫する事によって、ひとつの絵にまとめることができた。</p>			

# 尾形光琳 『紅白梅図屏風』

3年 番 名前『

』

絵の中の要素を比較して気づいたことを述べなさい。



A 白梅と紅梅 B 梅と川 C 右と左の構図 D 風神雷神図と紅白梅図屏風

○具体的に違う点と似ている点をあげてみよう。


○2つを比べて気づいたことをのべなさい。
